

# 平成26年度事後評価箇所表

担当課〔道路建設課〕

番号	3	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 (一般国道248号 関バイパス)												
事業実施箇所	<small>にしたわら</small> <small>くらし</small> 関市西田原～関市倉知		全体事業費 (当初15,400百万円) 17,100百万円												
採択年度	平成6年度	完了年度	平成24年度												
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね1年経過したもの														
事業目的	一般国道248号は、愛知県蒲郡市と岐阜県岐阜市を結ぶ総延長約112kmの主要幹線国道である。このうち関バイパスは、関市西田原～倉知に至る延長約5.3kmの道路改築事業である。当該区間の整備により有事に有効に機能する信頼性の高いネットワークの構築、東海北陸自動車道 関ICへのアクセス性向上、関市市街地内の交通混雑の緩和及び連続的な歩道整備による安全な歩行空間の確保等を目指すものである。														
事業概要	事業延長 L=5,300m、幅員 W=7.5m(12.0m)(暫定) 主たる工種：盛土工、法面工、擁壁工、排水工、交通安全施設工、舗装工														
概要図	<p>○標準横断面図(暫定形)</p> <table border="1"> <tr> <td>0.75m</td> <td>7.5m</td> <td>0.75m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3.5m</td> <td>0.5m</td> <td>3.5m</td> </tr> <tr> <td colspan="4">12.0m</td> </tr> </table> <p>起点：西田原IC 岐阜市方面を臨む      終点：倉知 美濃加茂市方面を臨む</p>			0.75m	7.5m	0.75m	3.0m	3.5m		0.5m	3.5m	12.0m			
0.75m	7.5m	0.75m	3.0m												
3.5m		0.5m	3.5m												
12.0m															

評価結果																			
①住民参加・協働による効果																			
○事業計画段階では、計画を公に縦覧し、広く住民意見を聴取した。また、事業中および事業後では地元住民参加による現場見学会や現地点検を実施し、道路事業に対する理解やバイパス完成の認知度向上へつながった。																			
②事業の効果																			
○東海環状自動車道を補完し、有時に有効に機能する信頼性の高い内環状ネットワークの完成 ・ 関バイパスの開通により県内の国道248号が2車線で完成																			
○東海北陸自動車道（関IC）へのアクセス性向上 ・ 美濃加茂市方面～東海北陸自動車道（関IC）間のアクセス時間が約5～7分短縮																			
【黒岩北交差点～倉知西交差点間における平均所要時間】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ルート No.</th> <th>経由路線</th> <th>平均所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般県道 勝山山田線</td> <td>18分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>関市道</td> <td>16分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>国道248号（関バイパス）</td> <td>11分</td> </tr> </tbody> </table>	ルート No.	経由路線	平均所要時間	1	一般県道 勝山山田線	18分	2	関市道	16分	3	国道248号（関バイパス）	11分							
ルート No.	経由路線	平均所要時間																	
1	一般県道 勝山山田線	18分																	
2	関市道	16分																	
3	国道248号（関バイパス）	11分																	
○関市市街地内の交通混雑の緩和 ・ 当該工区を並行する関市内東西路線の交通量が減少、市街地の交通混雑緩和																			
【関バイパス開通前（H24.7）から開通2年後（H26.10）における交通量の推移】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>開通前 (台/12h)</th> <th>開通2年後 (台/12h)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道248号旧道(市街地部)</td> <td>12,200</td> <td>11,000</td> <td>1,200台/12h(10%)減</td> </tr> <tr> <td>国道248号(関バイパス)</td> <td>15,100</td> <td>20,100</td> <td>5,000台/12h(33%)増</td> </tr> <tr> <td>市道(関バイパス北側)</td> <td>15,100</td> <td>8,800</td> <td>6,300台/12h(58%)減</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	開通前 (台/12h)	開通2年後 (台/12h)	増減	国道248号旧道(市街地部)	12,200	11,000	1,200台/12h(10%)減	国道248号(関バイパス)	15,100	20,100	5,000台/12h(33%)増	市道(関バイパス北側)	15,100	8,800	6,300台/12h(58%)減			
路線名	開通前 (台/12h)	開通2年後 (台/12h)	増減																
国道248号旧道(市街地部)	12,200	11,000	1,200台/12h(10%)減																
国道248号(関バイパス)	15,100	20,100	5,000台/12h(33%)増																
市道(関バイパス北側)	15,100	8,800	6,300台/12h(58%)減																
○連続的な歩道整備による安全な歩行空間の確保 ・ 美濃加茂市方面から関市内の高校へ通う生徒の通学ルートが、より安全性の高い当該バイパスに変更 ・ 関市内の中学校が当該バイパス歩道を一部通学路として指定																			
○消防・救急活動の支援 ・ 消防、救急活動の際に当該路線を活用することで、国道248号現道の交通混雑を回避でき、搬送時間が短縮され、搬送者への負担も軽減されている。																			
○費用対効果分析 ・ 国道248号 関バイパスのB/Cは1.8と算定。 ・ 1.0を超える値であることから事業の妥当性が確保されていることを確認。																			

### ③環境面への配慮

#### ○生活環境への配慮：騒音調査の実施

- ・ 関バイパス開通後、全ての時間帯において環境基準を下回る騒音レベルであることを確認。

### ④事業を巡る社会経済情勢の変化

#### ○岐阜・中濃・東濃圏域間の新たな広域ネットワークの完成

- ・ 関バイパス着手後、国道248号その他バイパス、東海環状自動車道が順次開通。関バイパス開通により、国道248号が2車線で完成。
- ・ 岐阜方面と美濃加茂方面をつなぐ新たなネットワークの完成。

### ⑤利用者・地域住民等への効果

#### ○利用者へのアンケート調査結果

- ・ 当該区間の整備に対して、約82%が満足と回答。（「やや満足」を含む）
- ・ 特に、移動時間の短縮や、信号がなく快適に走行できることに関しても高い評価を得ている。（「やや満足」を含む）

### ⑥対応方針（案）

（今後の事業評価の必要性の有無）

#### ○走行時間短縮、市内の混雑解消及び安全性の向上等、事業効果を確認。

#### ○沿線住民等へのアンケートにおいて、8割以上の「満足」を確認。

⇒以上の点から、今の段階では今後の事業評価の必要なしと判断。

（改善措置の必要性）

#### ○今の段階では改善措置の必要なし。今後、新たな課題が生じた場合には対応していく。

（新規事業へ適用すべき留意点）

#### ○今後も引き続き、交通量の推移を十分注視しながら、計画的に事業を立案、推進していく。